

第七十三回 帝國議會 临时租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄(速記)第十回

會 議		三木 武夫君		酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案 (政府提出)	
昭和十三年三月一日(火曜日)午前十一時十 九分開議		出席國務大臣左ノ如シ		出席政府委員左ノ如シ	
委員長 高橋熊次郎君		内務大臣 末次 信正君		内務參與官 木村 正義君	
理事岡本實太郎君		内務省地方局長 坂 千秋君		内務參與官 太田 正孝君	
理事西村金三郎君		大藏政務次官 田中 豊君		大藏參與官 中村三之丞君	
理事河野 密君		大藏省主稅局長 大矢半次郎君		大藏書記官 松隈 秀雄君	
前田房之助君 渡邊玉三郎君		大藏書記官 佐藤洋之助君		大藏書記官 田中 豊君	
勝 正憲君 矢野庄太郎君		小畠虎之助君 佐藤洋之助君		本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ	
川崎末五郎君 小畠虎之助君		大藏政務次官 太田 正孝君		臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)	
宇賀 四郎君 宮本雄一郎君		大藏參與官 中村三之丞君		臨時租稅措置法案(政府提出)	
小串 清一君 岡田 忠彦君		大藏書記官 田中 豊君		日滿國稅徵收事務共助法案(政府提出)	
服部 岩吉君 森田 福市君		本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ		○高橋委員長 是ヨリ開會致シマス、森田 君ノ發言順序ニナシテ居リマスガ、内務大臣 ガ御出席ニナリマシテ、十二時十五分前	
山川賴三郎君 相續稅法中改正法律案(政府提出)		臨時租稅增徵法中改正法律案(政府提出)		ニ、他ニ御約束ガアルサウデアリマスカラ、 其時刻ニナレバ退席ヲサレタイト云フ御申 出ガアリマス、故ニ内務大臣ニ關スル質疑 ヲ先ニ御願ヲ致シタイト思ヒマス、尙ホ二	
鶴 物市君 登錄稅法中改正法律案(政府提出)		所得稅法中改正法律案(政府提出)		ノ、他ニ御約束ガアルサウデアリマスカラ、 之ヲ取上ゲルコトニ開議ニ於テ大臣ハ贊成 サレテ居ルノデアリマスガ、其理由ト根據 ヲ承リタイト思フノデアリマス	
片山 哲君 水谷長三郎君		酒造稅法中改正法律案(政府提出)		○末次國務大臣 地方カラ取上ゲマシタモ ノヘ其儘置ク譯デハアリマセヌデ、適當ニ	

付託議案
府提出
相續稅法中改正法律案(政府提出)
大正九年法律第十二號中改正法律案(政府提出)
登錄稅法中改正法律案(政府提出)
(政府提出)
支那事變特別稅法(政府提出)
臨時租稅措置法案(政府提出)
利得稅法中改正法律案(政府提出)
麥酒稅法中改正法律案(政府提出)
大正九年法律第十二號中改正法律案(政府提出)
(政府提出)
酒造稅法中改正法律案(政府提出)
酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案(政府提出)
麥酒稅法中改正法律案(政府提出)
支那事變特別稅法(政府提出)
臨時租稅措置法案(政府提出)
日滿國稅徵收事務共助法案(政府提出)

時分ニ關聯質問ヲ御許シニナルコトヲ希望
致シマス——森田君

○森田委員 私ガ内務大臣ニ御伺致シマス
コトハ甚ダ簡単デアリマス、第一ニ御尋申
上げテ見タイト思ヒマスノハ、今度ノ稅制
ノ改革ト云フカ、要スルニ増稅ニ關シテ、
地方稅ニアツタ觀覽稅デアルトカ、或ハ地方
ノ特別所得稅トカ云フナウナモノヲ、此案
ニ依リマスト國ノ稅ニ取上ゲルト云フコト
ニナシタノデアリマスガ、地方ヘ御承知ノ通
リニ地方財政補給金ト云フモノヲ貰ッテ居ル
程、地方ノ財源ハ涸渴シテ居ルニモ拘ラズ、
之ヲ取上ゲルコトニ開議ニ於テ大臣ハ贊成
サレテ居ルノデアリマスガ、其理由ト根據
ヲ承リタイト思フノデアリマス

○末次國務大臣 地方カラ取上ゲマシタモ
ノヘ其儘置ク譯デハアリマセヌデ、適當ニ
付託議案
府提出
相續稅法中改正法律案(政府提出)
大正九年法律第十二號中改正法律案(政府提出)
登錄稅法中改正法律案(政府提出)
(政府提出)
支那事變特別稅法(政府提出)
臨時租稅措置法案(政府提出)
利得稅法中改正法律案(政府提出)
麥酒稅法中改正法律案(政府提出)
大正九年法律第十二號中改正法律案(政府提出)
(政府提出)
酒造稅法中改正法律案(政府提出)
酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案(政府提出)
麥酒稅法中改正法律案(政府提出)
支那事變特別稅法(政府提出)
臨時租稅措置法案(政府提出)
日滿國稅徵收事務共助法案(政府提出)

時分ニ關聯質問ヲ御許シニナルコトヲ希望
致シマス——森田君

○森田委員 私ガ内務大臣ニ御伺致シマス
コトハ甚ダ簡単デアリマス、第一ニ御尋申
上げテ見タイト思ヒマスノハ、今度ノ稅制
ノ改革ト云フカ、要スルニ増稅ニ關シテ、
地方稅ニアツタ觀覽稅デアルトカ、或ハ地方
ノ特別所得稅トカ云フナウナモノヲ、此案
ニ依リマスト國ノ稅ニ取上ゲルト云フコト
ニナシタノデアリマスガ、地方ヘ御承知ノ通
リニ地方財政補給金ト云フモノヲ貰ッテ居ル
程、地方ノ財源ハ涸渴シテ居ルニモ拘ラズ、
之ヲ取上ゲルコトニ開議ニ於テ大臣ハ贊成
サレテ居ルノデアリマスガ、其理由ト根據
ヲ承リタイト思フノデアリマス

○末次國務大臣 地方カラ取上ゲマシタモ
ノヘ其儘置ク譯デハアリマセヌデ、適當ニ

補ハナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、考ヘテハ居リマスガ、取上ゲタモノヲ直グ右カラ左ヘヤルノデアリマセヌデ、全般ヲ考慮シマシテ、地方ノ過分ノ負擔ニナラヌヤウニ考慮サレテ居ルノデアリマス、數字ノ上ヌデ、減リマシタモノガ直グ其儘他ノ方面カガ過重ニナラヌヤウニ考慮サレテ居ルノデアリマス

○森田委員 取上ゲタ儘デハ置カナイ、併ナガラ取上ゲタ數字ノ通リヲドウスル斯ウスルト云フ譯デモナク、負擔ノ過重ニナラヌヤウニト仰シャルコトハ一寸分リ兼ネルノデアリマス、地方費ノ已ムヲ得ザル負擔ハ、今迄ハ從來アツタ財源ニ依リテ之ヲ補ウテ居タノデアリマス、然ルニ其財源ヲ國ガ取上ゲル以上ハ、ヤハリ少クトモ同等額ハ之ヲ補助シナケレバ、元ヤツテ居ツタ通りノ施設ガ出來ナイコトハ内務大臣モ御承知デアラウト思フノデアリマス、サウスルト、此取上ゲル法律案ニ御贊成ニナツタノデアリマスカラ、之ヲ地方財政補給金ニ依ツテ補ハレノカ、觀覽稅ナドハ主トシテ市ガ取ツテ居ル、大キナ都市程觀覽稅ナドヲ取ツテ居ルノデアリマス、而シテアノ地方財政補給金ハ、

市ハ比較的恩典ニ浴シテ居ラヌノデアリマス、町村ハ別デアリマスガ、市ト名ガ付ケバ其恩典ガ薄イ、最近内務省ノ方針ニ依ッテ、府縣ガ勸奨ヲシテ、町村ヲ合併サシテ市トナツタヤウナ所ニハ、地方財政補給金ハ、以前ノ町ヤ村デアツタ時ト同等ノ補助金ヲヤラナケレバナラヌ、又受ケルベキモノデアルト考ヘテ居ツタノデス、ソレガ昨年ノ分ノ如キハ、第一次ニ屬スル交付金ハ、吾々ノ縣デ言ヘバ、三原市ノ如キハ頂戴シテ居ラヌノデアリマス、併シソレハホンノ六箇月カ五箇月前ニ縣ガ非常ニ喧シク言ウテ合併サシタ所ナノデス、サウ云フ状態デアリマスカラ、ヤハリ市名ガ付イタカラトテ、必ズソレヲ第一次ニ排斥シテ、市ト云フ所ハ財政ハ豐富ナモノデアルト云フ考ヲ御持チニナルコトハ間違ツテ居ルト思フ、市デモ

○末次國務大臣 市ニモ色々アリマシテ、裕カナ市バカリデナイコトモ能ク承知致シテ居リマスカラ、御趣意ノヤウニ出来ルダケノコトハ考慮シタイト考ヘテ居リマス、其他ノコトニ付テハ政府委員ニ答辯サセマス

○森田委員 大臣ガ時間ガナイサウデアリマスカラ、大臣ニ對スル質問ヲ進メマス、今ノ政府委員ノ御答辯ニ對シテハ、又後日質問ノ機會ガアラウト思ヒマスカラ、是デ措キマス、私ハ茲デ一ツ内務大臣ニ御伺致シテ見タイノデアリマスガ、私ハ内務大臣ニオ目ニ掛ルノハ此席ニ於テ初メテデアリマシテ、世間デ内務大臣ノコトニ付テ言フテ其跡始末ヲドウスルカト御心配ニナルマスト又一面時局ノ影響其他カラ、他ノ方

テアルトカ云フモノヲ取上ガテ國ノ收入ニマスト、其團體ガ財政上立行カヌヤウニナリテ見テモ、共產主義的ナ考ヲ持ツテ居ル者

他ニ財源ヲ持ツテ居ナイ、殊ニ出費多端ノ折柄、一層財源ヲ必要トスルノデアリマス、ス、其恩典ガ薄イ、最近内務省ノ方針ニ依ッテ、府縣ガ勸奨ヲシテ、町村ヲ合併サシテ市トナツタヤウナ所ニハ、地方財政補給金ハ、以前ノ町ヤ村デアツタ時ト同等ノ補助金ヲヤラナケレバナラヌ、又受ケルベキモノデアルト考ヘテ居ツタノデスガ、私ハ聽取レ

カ仰シヤツタヤウデアリマスガ、私ハ聽取レナカツタノデスガ、負擔ガ多クナルカラ財源置クダケデナク、又考慮スル、負擔ヲ何トデアルト考ヘテ居ツタノデス、ソレガ昨年ノ分ノ如キハ、第一次ニ屬スル交付金ハ、吾々ノ縣デ言ヘバ、三原市ノ如キハ頂戴シテ居ラヌノデアリマス、此點ニ對

ガ多ク要ルノダト私ハ思フ、隨テ負擔ガ多クナル所カラ財源ヲ取上ガラレ、バ、一層財政ハ困難ニナルノデアリマス、此點ニ對シテ、今ノ二點ヲモウ一度御答願ヒタイト

思ヒマス

○坂政府委員 觀覽稅興行稅ガ廢止ニナリマシテ、是ガ國稅ノ入場稅ノ方ニ入りマスト、ソレダケ地方ガ財政ヲ失ヒマスコトハ御承知ノ通リデアリマス、隨ヒマシテ其跡始末ヲドウスルカト御心配ニナルマスト又一面時局ノ影響其他カラ、他ノ方

テアルトカ云フモノヲ取上ガテ國ノ收入ニマスト又一面時局ノ影響其他カラ、他ノ方テ見テモ、共產主義的ナ考ヲ持ツテ居ル者

イノハ、政府ガ出シテ來テ居ル増稅案ニ依

ハ、獨リニアノ學者其他特殊ノ方面ノミニアラ
ズシテ、官界ノ方面ニモ私ハ手ヲ入レナケ
レバナラヌ所ガ多々アルノデハナイカト考
ヘルノデアリマス、其點ニ付テ一ツ御尋申
上ゲテ見タイ、近頃ハ色々ナ主義ガ彼此レ
論ゼラレテ居リマスガ、何ト云ウテモ家族
制度ト云フモノガ一番我國ノ誇トシテ居ル
制度デアリマス、詰リ國家日本主義デアル
トカ色々ナコトガ話サレテ居リマスガ、其
本ハヤヘリ家族制度ニ一番重キヲ置カナケ
レバナラヌノデハナイカト私ハ考ヘル、然
ルニ此増税案ノ上ニ現レタ所ヲ以テ見ル
ト、日本古來ノ美風ハ取去ラナケレバナラ
ヌノデアリマス、私ハ此相續税ニ付テ、斯ウ
云フモノガ閣議ニ上ッテ、御賛成ニナッタコ
トニ關シテ御尋シテ見タイノベ、恐ラク今
度ノ相續税ノ改正ニ依リ増税ノ納入ヲスル
時ニハ、親ガ子ニ財産ヲ残スト云フヤウナ
コトハ、私ハ不可能デヤナイカト考ヘ
ル、昔ハ親苦、子樂、孫仕舞ヒト云フコ
トヲ言ッテ居ッタガ、ソレハ稅ノ爲ニサウ
ナッタノデヤナイガ、今度ハ恐ラク稅ノ爲
ニサウナルノデヤナイカ、家族主義ト云フ
モノ、家族ガ協調ヲシテ圓満ニ一家ノ繁榮
ヲ圖シテ行クト云フコトヘ、ヤハリ親ガ
残シタ財產ガアレバコソデヤナイデセウ

カ、其モノガ今度ノ増税ニ依ッテチットモ無
クナルヤウニナレバ、私ハヤヘリ日本ノ家
族制度ト云フモノハ破壊サレテシマフト思
フノデアリマス、大藏省ノ役人サンガ居ラ
レル前ニ、ヤハリ世間デ言ツテ居ルヤウニ、
今ノ若手ノ官僚ハ何レモ赤ニカブレテ居ラ
ス者ハナイ、此統制主義ハ悉ク露西亞ノモ
ノヲ採リ入レテ來タ、私ガ聞ク所ニ依レバ、
内務大臣ハ御承知カドウカ知ラヌガ、來
ル四月一日カラハアノ揮發油販賣ハ金ダケ
持ツテ行ッタノデヤ賣ラナイ、政府ガ何某、
何會社ニハ幾ラノ石油ヲ賣ツテ宜イト云フ
賣下許可書ト金トヲ持ツテ行カナケレバ、石
油ヲ賣ラヌヤウニスルヤウナ方法ヲ立テヨ
ウト言ハレテ居ルサウデアリマス、事實カ
ドウカ、斯様ナコトガ事實ニナラヌコトヲ
切望シマスケレドモ、若シ假ニサウ云フコ
トニシテ貴ハナケレバイカヌト思フ、サウ云
居ル我國ノ官吏ノ中ニ居ル、是等ニ私ハ手
入ヲシテ貴ハナケレバイカヌト思フ、サウ云
フコトガアルト云フコトト、モウ一ツ今ノ
家族制度ヲ破壊スルト云フ相續税ニ付テ、
斯ウ云フ考ヲ内務大臣ハオ持チニナルカナ
ラヌカ、成程政府ハ最高五十何割デスカ、百
圓ニ對シテ五十何圓取ルノデアルカラ、半
分以上殘スト大藏省ノ役人ハ言ハレルデア
リマセウ、私ハ大藏省ノ役人ヲ此處デ攻撃
スルノデモ何デモアリマセスガ、机ノ上デ
半分取ルカラ半分殘ルト云フヤウナ考ハイ
ケナイ、何トナレバ相續稅金額ハ現金デ取
行シテ果シテソレガ日本ノ國家ノ爲ニナル
ノデアル、其他所得稅ノ如キモノデモ莫大
ナ今ノ增稅ヲヤッテ、サウシテ現金デ其稅
金ヲ取上ゲル、斯ウ云フ方法ヲ以テヤッテ
行シテ果シテソレガ日本ノ國家ノ爲ニナル
ダラウカ、私ハ此思想方面ニ向シテ内務大
臣ガ非常ニ意ヲ用ヒラレテ居ルコトハ感謝
致シマス、併ナガラ幾ラ御取締ニナッテモ、肝

ヲ採リ入レテ行クコトガ善イカ悪イカ、サ
ウ云フヤウナ露西亞ノ眞似ヲシテ、先づ第
一步ニ石油ヲ賣ルノニサウ云フコトヲヤラ
ウトシテ居ルノデアリマス、圓紙幣ダケデ
レ賣ラナイ、政府ノ許可書ヲ添ヘテ持ツテ
行カナケレバ買ヘナイト云フノハ、是ハ露
西亞ダケデ世界各國何處ニモアリマセヌ、
要スルニ露西亞ノ政策ヲ採リ入レタノデス、
露西亞ノ政策ヲ採リ入レルヤウナ考ヲ持ツ
テ居ル者方政府部内——防共協定ヲヤッテ
入ヲシテ貴ハナケレバイカヌト思フ、サウ云
フコトガアルト云フコトト、モウ一ツ今ノ
家族制度ヲ破壊スルト云フ相續税ニ付テ、
斯ウ云フ考ヲ内務大臣ハオ持チニナルカナ
ラヌカ、成程政府ハ最高五十何割デスカ、百
圓ニ對シテ五十何圓取ルノデアルカラ、半
分以上殘スト大藏省ノ役人ハ言ハレルデア
リマセウ、私ハ大藏省ノ役人ヲ此處デ攻撃
スルノデモ何デモアリマセスガ、机ノ上デ
半分取ルカラ半分殘ルト云フヤウナ考ハイ
ケナイ、何トナレバ相續稅金額ハ現金デ取
行シテ果シテソレガ日本ノ國家ノ爲ニナル
ノデアル、其他所得稅ノ如キモノデモ莫大
ナ今ノ增稅ヲヤッテ、サウシテ現金デ其稅
金ヲ取上ゲル、斯ウ云フ方法ヲ以テヤッテ
行シテ果シテソレガ日本ノ國家ノ爲ニナル
ダラウカ、私ハ此思想方面ニ向シテ内務大
臣ガ非常ニ意ヲ用ヒラレテ居ルコトハ感謝
致シマス、併ナガラ幾ラ御取締ニナッテモ、肝

ヲ採リ入レテ行クコトガ善イカ悪イカ、サ
ウ云フヤウナ露西亞ノ眞似ヲシテ、先づ第
一步ニ石油ヲ賣ルノニサウ云フコトヲヤラ
ウトシテ居ルノデアリマス、圓紙幣ダケデ
レ賣ラナイ、政府ノ許可書ヲ添ヘテ持ツテ
行カナケレバ買ヘナイト云フノハ、是ハ露
西亞ダケデ世界各國何處ニモアリマセヌ、
要スルニ露西亞ノ政策ヲ採リ入レタノデス、
露西亞ノ政策ヲ採リ入レルヤウナ考ヲ持ツ
テ居ル者方政府部内——防共協定ヲヤッテ
入ヲシテ貴ハナケレバイカヌト思フ、サウ云
フコトガアルト云フコトト、モウ一ツ今ノ
家族制度ヲ破壊スルト云フ相續税ニ付テ、
斯ウ云フ考ヲ内務大臣ハオ持チニナルカナ
ラヌカ、成程政府ハ最高五十何割デスカ、百
圓ニ對シテ五十何圓取ルノデアルカラ、半
分以上殘スト大藏省ノ役人ハ言ハレルデア
リマセウ、私ハ大藏省ノ役人ヲ此處デ攻撃
スルノデモ何デモアリマセスガ、机ノ上デ
半分取ルカラ半分殘ルト云フヤウナ考ハイ
ケナイ、何トナレバ相續稅金額ハ現金デ取
行シテ果シテソレガ日本ノ國家ノ爲ニナル
ノデアル、其他所得稅ノ如キモノデモ莫大
ナ今ノ增稅ヲヤッテ、サウシテ現金デ其稅
金ヲ取上ゲル、斯ウ云フ方法ヲ以テヤッテ
行シテ果シテソレガ日本ノ國家ノ爲ニナル
ダラウカ、私ハ此思想方面ニ向シテ内務大
臣ガ非常ニ意ヲ用ヒラレテ居ルコトハ感謝
致シマス、併ナガラ幾ラ御取締ニナッテモ、肝

腎要メノ御膝元ノ方向ニ一寸モ眼ヲ向ケテ
居ラレヌヤウニ考ヘルノデアリマス、是等
ニ對スル内務大臣ノ根本ノ觀念ヲ一ツ拜承
シタインデアリマス

○末次國務大臣 官

○末次國務大臣 官界ニ、殊ニ若イ所ニ共
産主義者ガアルカノヤウナ御説デアリマシ
タガ、是ハ洵ニ重大ナ問題デアリマス、私
制度ガ日本古來ノ美風デアルコトニ付キマ
シテハ御説ノ通リデアリマス、ソレニ付キ
マシテ、相續稅ガ結局ハ家族制度ヲ破壊ス
ル、斯ウ云フヤウナ御議論デアリマシタガ、
申上ゲル迄モナク今回ノ相續稅法ノ改正ハ、
部分的改正デアリマシテ、臨時租稅増徵法
ノ割增率ヲ累進的ニ組直サレタノデアリマ
ス、只今ノ税率ヲ以テ家族制度ガ破壊サレ
ルトハ見テ居リマセヌ

ソレカラ石油、「ガソリン」ヲ賣ルノニ切手
ヲ持ツテ行カナケレバ賣ラナイト云フ點ハ、成
程形ハ如何ニモ「ソビエト」デヤッテ居リマ
スノト同ジカモ知レマセヌガ、此重大ナル
時局、戦争ト變ラナイ重大ナ時局ニ於キマ
シテ、大切ナル資源ヲ有效ニ、適切ニ使ヒ
マス爲ニハ、計畫經濟ヲ考ヘナケレバナラ
ヌコトハモウ當然デアリマシテ、其必要上
カヲ執ツテ居リマス手段ガ、偶々「ソビエト」

デヤツテ居ルノト一致シテ居ル點ガアツタ
シマシテモ、是ガ直ニ共産主義トハ考ヘ
テ居リマセヌ、必要ナ手段、已ムヲ得ザル
手段ダト考ヘテ居リマス

○森田委員 経済ノコトニ關シテ、私ハ内務大臣ト此處デ質疑應答ヲ重ネル考ヲ持ッテ居リマセヌ、唯アナタノ持ッテ居ラレル考ヲ私ハ率直ニ聽キタイノデスカラ、出來得レバ政府委員カラ色々ナモノヲ貰ッテ話サレズニ、アナタノ本當ノ信念ヲ聽キタイトと思フ、肝腎ナコトヲ聽キタイノニ、横カラ勝手ナコトヲ「メモ」ヘ書イテ出シ、ソレヲコチラヘ移シテ貰ッタノデハ、本當ノ内務大臣ノ眞意ハ聽カレナイノデス、數字ノコトハ此處デ御聽キ申サウトハ思ヒマセヌ、内務大臣ハ數字ノコトハサウ明ルクナクテ居ラッシヤルコトハ承知致シテ居リマス、軍人サンニサウ云フコトハ分リマセヌ、其點ヲ私ハ此處デ押問答スルノデハアリマセヌカラ、アナタ方ハ神經ヲ過敏ニシテ戴キタイ、今ノトヲ注意シナイヤウニシテ戴キタイ、今ノ御話ノ中ノ、今日ノ相續稅ヲ改正シタ所デ我國古來ノ家族制度ノ美風ヲ破壊スル迄ニ立至ラナイト仰セラレル、ソレハ「メモ」デ大藏省ノ連中ガ出シタノヲ御讀ミニナツタノデス、是ハ破壊ニナルコトハ、後デ大藏省ノ人ト手段ダト考ヘテ居リマス

話ヲスル積リデスガ、今私ガ申上ゲル通リニ、今日ノ相續税ノ決ッタ税率ヲ今後稅務署ガ勝手氣儘ニ決メテ、相續金額ニ此稅率ヲ加ヘテ行クト、ドウシテモソレハ今私ガ申上ゲタ通リデアル、能ク一ツ今後御聽キモ、稅務署ハ認定スルコトガ出来ルヤウニスルニ當ツテハ被相續者ガ同意ヲ與ヘヌデスルニ當ツテ居ル、ソレデアルカラ田地一反五百圓ニ決メル、宅地ガ時價三百圓トナッテ居レバ、ソレニ決メテシマヒ、ソレ等ヲ集メテ十萬圓ナリ、五十萬圓ナリ、百万圓ト相續金額ヲ決定スル、其相續決定金額ニ對シテ税率ハ百分ノ十二デアル、甚シキハ千分ノ四百三十、百分ノ四十三ト云フヤウナ稅率ヲ持ツテ行クト、百万圓トシテ四十三萬圓ト假ニ稅金ガ決マレバ、マダ後ニ五十七万圓残ルト云フカラ家族制度ノ破壊ニナラヌトスウ内務大臣ガ仰シヤツタ、政府ノ連中モサウ云フ積リナンデス、所ガ其四十三萬圓ノ稅金ヲ納メル爲ニ持ツテ居ル田ヤ、山ヤ、烟ヤ、宅地ヤ、有價證券ヲ賣出スト、ヤハリ足許ヲツケ込マレマシテ、稅務署ガ五百圓ト田地ヲ査定シテモ本當ハ二百五十圓カ三百圓ニシカ、稅金ヲ調達スル爲ニ賣ルト云フコトニナレバ賣レナイ、隨テ今申スヤウ

署ガ査定シタ百万圓全部ヲ處分シテモ足ル
カ足ラヌカ分ラヌ、隨テ今私ノ申上ゲルノ
ハ、百万圓ト決メラレタナラバ、私ハ是ダ
ケシカナイカラ、ドウゾ全部政府ニ差上げ
ルカラ残リノ五十七万圓ヲ下サイト云フナ
ラベ、ソレハ破壊ニナリマセヌ、併シ四十
三万圓ヲ納メマス爲ニハ百万圓政府ガ認メ
タモノヲ全部賣ッテモ到底足リナイ、斯ウ
云フコトヲ申上ゲルノデアリマス、内務大
臣ハ此點ハソレデモ……私ハ之ヲ漸進的共
産主義者ト言フノデスガ、ソレデナイナラ
バサウデナイトヘキリ言ッテ貰ヒタイ、恐
ラク何人デモ之ニ對シテハッキリ言ヘル人
ハアルマイト思フ、ソレデ以テ國家ノ官吏
ノ中ニハサウ云フヤウナ赤染ミタ者ハ居ラ
ヌト仰シャッテモ、若イ官吏ガ讀ンデ居ル
ノヲ見レバ皆翻譯物バカリデアリマス、ソ
レデ今ノヤウナコトヲヤッテ日本ノ家族主
義ノ破壊ニハナラスト言ハレルガ、私ハナ
ルト思フ、是ハ私ハアナタトナルナラヌト
意見ヲ言ヒ合ハナクテモ、アナタガ冷靜ニ
御考ヘニナラレ、バ宜イノデス、ソレカラ
石油ノ販賣ハ國家資源ノ重大ナ場合デアル

言ハレマスガ、私ハソレガ已ムヲ得ヌ沙汰ニシテモ露西亞ノヤツテ居ルコトハヤラヌ國家ノ大切ナル資源ヲ濫用サセヌヤウニ元ヲ括ツタラ宜イ、元ヲ括ルニハ差向キ我國ノ輸入ヲ量デ決ヌル、ソレデ以テ適當ニ配分シテ行ケバ、露西亞ノヤツテ居ルヤウナ切符ヤ印紙ヲ持ツテ行カヌデモ買ヘルヤウニナル、又ソレハ大藏省ト商工省、殊ニ大藏省ノ方ガ一寸考違ヒヲシテ居ルノデ、石油ノ資源ハ大事ナンデアルガ輸入ヲ阻止スル爲ニ左様ニヤツテ居ルガ、輸出ノ方ヲ等閑ニ付シテシマッテ居ルノデサウ云フコトニナル、輸出ヲ獎勵シテ輸出ガドンヽ＼出来レバ國際貸借ハ何ノ影響モナイ、是ハ任務大臣ハ有力ナ閣僚デアルカラ閣議ノ席デサウ云フコトヲ主張シテ貴ヒタイ、國際貸借ノ大切ナコトハ勿論デアルガ、ソレハ輸入ニバカリ神經ヲ失ラサズニ輸出ノ方ニ意ヲ用ヒレバ、必シモ輸入ヲ抑ヘヌデモ行クノデハナイカト云フ考ラ持ツテ貴ヘバ、私ハ決シテ左様ナ露西亞ノ眞似ヲ今更ヤラヌデモ此石油資源ノ調節位スルコトハ骨ノ折レタ問題トハ思ツテ居リマセヌ、防共協定ニ入ッテ居ル我國ガ、共產主義ノ國ノヤツテ居

ルコトヲ已ムヲ得ヌカラト云フテ私ハ眞似ヲセヌ方ガ宜イト思ヒマス、已ムヲ得ヌトナラバ已ムヲ得ルノデアル、ソレヲ今ノ若イ役人ガ、斯ウ云フコトガ一番良イト言フト今ノヤウニ口移シニ閣僚ガサウ云フコトヲ言ツタノヂヤ駄目デス、彼等ガ斯ウ云フコトヲ言ツテモ、國家ノ爲ニナラヌコトヲ言フ奴ハ、誰デアラウト其言ハ斥ケテ貰ヒタイ、私ハ是ガ内務大臣ノヤウナシッカリシタ人ナラバ出来ルト信ジテ、茲ニ御足勞願ツテ、意見ヲ交換ヲシテ御考慮ヲ願ツテ居ル、デアルカラ、アナタハ役人ノ中ニハ赤ノ思想ヲ持ツタ者ハナイト仰シヤルガアリマス、少クトモ大學其他ニ於テモ皆研究ヲシテ居ル、何ノ爲ニ研究シテ居ルカト云フト、取締ル爲ニ一應讀ンデ置カヌト工合ガ惡イト言ウテ、内務省ノ警保局、各府縣ノ特高課デハ皆ヤツテ居ル、ソレヲアナタハ知ラナケレバイケマセヌ、内務大臣ノ所管ノ下ニ居ル役人ガ悉クソレハ取締上ノ必要アリト稱シテ皆讀ンデ居ル、デアルカラシテ皆ソレ等ガ知ラズ識ラズノ中ニ讀ンデ行ツテソレニカブレテ行キ居ル、カブレテ行ツタ結果ガ斯ウ云フ稅法ナンカニ付テ皆事實ニ現ハレテ來ルノデアリマスカラ、其點ヲ——時間ガナ

ハ措キマスガ、今ノ點ニ付テ内務大臣ニ對スル質問
感ガアレバ拜承致ジタイノデアリマス
○末次國務大臣 相續稅ノコトデ、今御話
ニナツタ通リダトスレバ、ソレハモウ非常ニ
考ヘナケレバナラヌ問題ダト思ヒマス、ア
ナタノ今仰セニナツタ相續稅ニ關スルコト
ハ御尤ナヤウニ拜聽致シマシタガ、私素人
デアリマスカラ篤ト研究致シマス、ソレカ
ラ此石油ノ方デスガ、是ハ何モ札ヲ持ッテ
行ツタカラト言ウテサウ何モヤカマシク言
ハヌデモ、札ヲ持ッテ行カナケレバ買ヘナイ
ト云フコトニシテ置カヌト云フト、濫費ガ
防ゲナイト云フ立場カラ來テ居ルノデ、是
位ノコトハソレ程喧カマシク仰セラレナク
テモ大目ニ見ラレテ宜カラウト思ヒマス
○高橋委員長 申上ゲマス、皆サンカラ内
務大臣ニ對スル關聯ノ御質問ガアリマスガ、
内務大臣ハ據ロナキ御用ガアツテ退席サレ
ナケレバナリマセヌ、午後二時半或ハ三時
頃カラ又開會致シタイト思ヒマスカラ、其
節成ベク御繩合セラ願フコトニ今申合セテ
デ休憩致シマシテ、午後二時半乃至三時ヨ
リ開會致シマス

○高橋委員長 開會致シマス、内務大臣ハ
國家總動員法案ノ委員會ニ横取ヲサレマシ
テ、足止メヲ食ッテ居ルヤウナ形デアリマ
スカラ、追ツテ御出席ニ相成ルコト思ヒ
マス、只今太田政務次官ガ御出席ニナッテ
居リマスカラ、大藏省ニ對スル質疑ヲ御繼
續願ヒマス、此場合宇賀四郎委員ノ御發言
ヲ求ヌマス

○宇賀委員 私ハ眞先ニ十三年度ト十二年
度ノ、豫算参考書ニ書イテアリマス所ノ歲
入ノ前年度比較表ヲ見マスト、所得稅デ一
億七百万圓バカリ増ニナッテ居リマスガ、此
他今度臨時租稅增徵法外七件ノ稅法中改正
案ニ依ツテ法律ガ改正サレマスガ、其中ニヘ
一寸モ稅率ニ關係シナイモノモアルヤウデ
アリマスガ、此稅法ノ中デ稅率ノ變更ニ關係
係スルモノガアリマス、其法律ヲ變更スル
結果一體ドレ位增稅ニナル積リデアリマス
カ、大臣ノ御話ヲ聽キマスト、今度ノ臨時
租稅增徵法外七件ト云フノハ唯從來ノ凸凹
ヲ地均シシタニ過ギナイモノデアルカラ、
敢テ増徵ヲ圖ツタモノデナイト云フヤウナ
御話ヲ承リマシタ、所ガ十三年度ト十二年
度ノ豫算ノ比較表ヲ見ルト、普通ノ租稅デ
一億七千二百餘万圓、臨時利得稅デ二千万

居ル、動産ト不動産トノ關係ガ不均衡ニナツ
テ居ル、斯ウ云フ意味ニ於テ馬場サンノ稅
制改革ガ企テラレタヤウニ思ヒマス、而シ
テ中央ト地方トノ關係ニ付キマシテハ、其
間ノ融通ヲ圖ル爲ニ、交付金制度ノ採用ニ
依ツテ均衡ヲ保タセタイ、斯ウ云フ御考デ
アツタヤウニ思ヒマス、其後ニ於キマシテ臨
時租稅增徵法、或ハ北支事件特別稅法、今
回ノ增稅ト云フモノヲ通ジテ考ヘテ見マス
ルト、其儘之ヲ容レタト云フノデハゴザイ
マセヌガ、馬場サンノ時ニ考ヘラレタ意向
ハ、今言ツタ綜合課稅ノ如キ根本的ノモノハ
別ト致シマシテ、或ハ法人ニ對シテ強ク課ヶ
ルトカ、有價證券移轉稅ヲ課ケルトカ、或ハ
僅少デアルト云フ御批評デゴザイマシタガ
今回不動產關係ニ付テ登錄稅ヲ直ストカ、其
或ルモノハ取入レ、或ルモノハ新ニ案ヲ立
テテ行ツタノデアリマスガ、サウ云フ意味ニ
於キマシテ或ハ直接稅間接稅ノ比率ニ付テノ
考慮ト云ツタヤウナ點ニ於テ馬場サンノ考
ヘラレタ方角ニ向ツテ進ンデ居ルト云フコト
ハ言ヒ得ルト思ヒマス、併ナガラ全面的ニ
アノ案を行カナケレバナラストハ考ヘテ居
リマセヌ、相當複雜ナ稅法ニハナッテ居リマ
スルガ、都市ト農村ノ關係ニ付テモ、他ノ
原因モアリマスルケレドモ、相當緩和サレ

ツ、アルデハナイカ、法人ニ對スル增徴ガ相當強クナツタ關係カラ、個人トノ間ニモ均衡ガ取レテ來タノデハナイカ、或ハ動產不動產ノ關係ニ付テモ、多少トモサウ云フ情勢ニ向ヒツ、アルノデハナイカ、行ク道ハトヘ、部分的改正ニ於テモ、今度ノ改正ニ負擔ノ均衡ト云フ狙ヒノ下ニ進ンデ居ルコトヘモ、一般的改正コソシナイガヤハリ其道ヲ辿ツテ居ルト申上ゲルコトガ出來ルカト思フノデアリマス

行シナケレバナラスト云フ意味デアリマス
カ、或ハ其外ニ何カ特殊ノ事情ガ御アリダ
ラウカ、此邊ヲモウ一遍承ルコトガ出来タ
ナラバ仕合セデアルト思ヒマス

○太田政府委員 皆様方カラノ御質問デ既
ニ大藏大臣及ビ主税局長カラ御答辯申シテ
居ルノデアリマスガ、只今宇賀サンノ仰シヤ
イマスヤウニ、主タル點ニ付キマシテハ金融
政策ト中シマスカ、國債ノ消化、或ハ産業資
金ノ疏通ト云フヤウナ意味ニ於キマシテ、
現在ノ金利「ベース」ヲ維持シテ行キタイ、斯
ウ云フ立前ガ主ニナツテ居ルコトハ度々申
上ゲタ通リデゴザイマス、併シ金融資本ニ
阿ツテ産業資本ニ辛ク當ルノデハナイカ、斯
ウ云フ御言葉デゴザイマスガ、此問題ニ付
キマシテハ、只今申シマシタ國債及ビ金融
政策ノ上カラ見ナケレバナラズ、翻ツテ投資
ヲスル人ノ算盤勘定カラ見ナケレバナラズ、
又租稅政策トシテハ是デ宜イカドウカト云
フコトモ見ナケレバナラズ、考究スペキ點
ガ三ツニモ分レルカト思フノデアリマス、
現在ニ於テ公債ヲ消化シテ吳レル大キナ力
トモ謂フベキ銀行ノ立前カラ見マスト云フ
ト、只今ノ預金ノ「コスト」ガ下ゲラレ得ザ
ル状況ニアリマス限リニ於キマシテハ、此

高クスルト云フヤウナ方策モ執ラナケレバ
ナラヌカト思フノデアリマス、社債ニ付キ
マシテハ申上ゲル迄モナク、社債ニ課税致
シマスト云フト、發行者ニソレガ轉嫁シテ
行クト云フヤウナ現在ノ事情ニナッテ居ル
コトモ御諒承願ヒタイト思フノデアリマス、
投資家、金ヲ出ス人ノ算盤勘定カラ申シマ
シタナラバ、無論稅モ一ツノ要素デゴザイ
マスガ、稅以外ノ要素モ相當此點ニ於テハ
加ハラナケレバナラヌノデハナカラウカ、
一方金融關係ノ方ハ低金利政策ニ依リマシ
テ、金融業者ハ相當打撃ヲ蒙ッテ居リマス、
然ルニ一面ニ於キマシテ低利資金ガ撒布
サレルヤウナ關係ニ於キマシテ、時局關係
ノ事業ニ於キマシテハ相當利益ガ増シテ居
ルト云フコトモ亦考ヘナケレバナラヌコト
デハナカラウカ、租稅政策カラ申シマシタ
ナラバ、毎度大藏大臣カラ申シマシタヤウ
ニ、稅引利廻ノ關係カラ申シマスト云フト、
公債ト株式トノ割合ヲ見マスレバ、株式ノ
方ニ稅ガ強クナッテ居ルコトハ事實デアリ
マセウ、併シ其強クナッタ程度ガサウ強イ
モノデハナカラウ、十万圓ノ所得ニ付キマ
シテ全部ガ其關係ニアルモノト見マシテモ、
一厘何ガシニシカ當ツテ居ラナイデハナイ

カ、税引利廻ノ關係ニ於キマシテモサウ云
フコトガ言ヒ得ルカト思フノデアリマス、
而シテ昨年ノ經過ニ見マシテモ、株式ニ對
スル所ノ税ハ多少高クナッタニ拘ラズ、社債
トノ關係ハドウデアルカト云ヘバ、他ノ事
情モアリマシタガ、相當多額ナ株式ノ拂込
ガアルニ拘ラズ、社債ノ方ハソコ迄行カナ
カツタ、斯ウ云ッタヤウナ事情モ考ヘラレ得
ルノデハナイカト思ヒマス、租稅政策ト致
シマシテハ是等ノ點ハ無論根本的ナ改革ト
モ關係ヲ持ツテ居ルコトデハゴザイマスガ、
只今ニ於キマシテハ最初ニ申上ゲマシタ通り
此三ツノ論點ヲ綜合致シマシテ一番主ナ點
ハ何ニアルカト云ヘバ、國債ノ消化ト資金
疏通ト、而シテ現在ノ金利「ペース」ヲ維持
スルト云フコトニ主點ガ置カレテ居ルト云
○高橋委員長 宇賀君ニ一寸申上ゲタイノ
デアリマス、只今御質疑ニナッテ居ル事項
ハ相當重要ナ事項デアリマスカラ、相當ノ
時間ヲ質疑ニ要スルコトト思ヒマス、内務
大臣ガ御出席デアリマスカラ、午前ヨリ引
續イタ内務大臣ニ關スル質疑ヲ先ニシテ戴
キタイト思ヒマスガ宜シウゴザイマス
カ、他ノ諸君ニ御讓リラ願ヒタイト思ヒマ
ス

○宇賀委員 ソレデハ私ハ他ノ方ニ譲リマ
ス
○森田委員 私ノ内務大臣ニ對スル質問ハ
大體午前デ終ツタノデアリマスガ、今一言ダ
ケ内務大臣ニ申上ゲテ御所見ヲ承リタイト
思フノデアリマス、内務大臣ハ例ノ切符デ
石油ヲ賣ル制度、アノ程度ノ露西亞ノヤツテ
居ルコトヲ採入レルコトハ敢テ差支ナイデ
ヤナイカト云フヤウナ、所謂此方面ニ對シテ
寛大ニ扱ツテ宜イヤウナ御答ガアッタノデア
リマスガ、成程ソレハ其位ノ程度ノコトハ
宜イカモ知レマセヌ、ケレドモ少シヅヽ、
物ガ十アルト假定スルト、一ツヅヽ採リ居
ル間ニ遂ニ過半數ヲ採入レルコトニナルノ
デアリマス、揮發油ヲ賣ルコトハ、必シモ
露西亞ガ總テノ物資ヲ賣ツテ居ル方式ニ則
モ同感デアリマスガ、併ナガラ其方法ガ、
私ナドハ露西亞ノヤツテ居ルヤウナ方法ニ
ラヌデモ——大切ナル資源デアルコトハ私
デアリマス、挿發油ヲ賣ルコトハ、供給方法ヲ考慮
ニ入レテ、所謂油ノ節約ヲシヨウト云フコ
トハ、大藏省ガ國際貸借ノ上ニ於テ、爲替ヲ
ヤウニ油ノ使途ニ付テハ、供給方法ヲ考慮
スルト云フヤウナ制度ヲ御採リニナラズ、他
ノ制度ヲ御採リ願ヒタイ、他ノコトハ兎モ
角トシテ、此事ハモウ一度内務大臣トシテ
考ヘ直サレルカドウカ拜承致シタイノデア
リマス

○末次國務大臣 「ガソリン」ヲ切符デ買ヒ
マスコトハ差支ナイト思ヒマスガ、總テノモ
ノヲ切符制度ニスルト云フコトハ、是ハ大
イニ考ヘ物ダラウト思ヒマス、一般論トシ
テハ、御意見ニ同意デアリマス

ニ對シテ内務大臣ハ、其位ナコトハ宜イ、
或ハソレハ意見ヲ異ニスルノデアリマスカ
ヲ、致シ方ガナイカモ知レマセヌガ、併シ
此内務大臣ニシテ、私ハ左様ナ答辯ヲ致ス
コトハ遺憾ニ思フノデアリマス、ドウシテ
モヤハリ總テノ問題ガ、今日ハ日本ハ日本
獨特ノ古來ノ總テノ思想ニ則ツテ上下共ニ
ヤツテ行カウト云フコトニナッテ居ルノデア
リマスカラ、ドウゾ内務大臣ハ、是シキノ
コトナラ宜イト云フヤウナコトハヤハリ
私ハ考ヘ直シテ貴ヒタイ、殊ニ日本ガ今本
當ニ石油資源ヲ大切ニシナケレバナラヌケ
レドモ、サウシタ方法ヲ採ラナケレバナラ
ヤウニ油ノ使途ニ付テハ、供給方法ヲ考慮
スルト云フコトニ主點ガ置カレテ居ルト云
フコトヲ申上ゲタインデアリマス

○高橋委員長 宇賀君ニ一寸申上ゲタイノ
デアリマス、只今御質疑ニナッテ居ル事項
ハ相當重要ナ事項デアリマスカラ、相當ノ
時間ヲ質疑ニ要スルコトト思ヒマス、内務
大臣ガ御出席デアリマスカラ、午前ヨリ引
續イタ内務大臣ニ關スル質疑ヲ先ニシテ戴
キタイト思ヒマスガ宜シウゴザイマス
カ、他ノ諸君ニ御讓リラ願ヒタイト思ヒマ
ス

居ル統制經濟ノヤリ方ノ眞似ヲセヌデモ出
來ルデハアリマセヌカ、私ノ斯ウ云フ質問
スカ、國際貸借ト云フモノハ、獨リ輸入バ
カリ節シタノデハ、一層國際貸借ノ上ニ於

是デ宜シイノデアリマス、大藏大臣ニ對ス
ル質問ハ留保致シテ置キマス

○高橋委員長 川崎君

○川崎(末)委員 私ハ極メテ簡單ニ一二ノコトヲ内務大臣ニ御尋シテ内務大臣ノ御所見ヲ確メテ置キタイト思フノデアリマス、事柄ハ簡単デアリマス、ドウゾ其御積リデ願ヒタク、内務大臣ノ御信念ニ依ッテ直截簡明ニ一ツ御示シラ願ヒタク、第一ハ今回ノ支那事變ノ特別税ニ於キマシテ、大臣ハ御承知アルカモ知レマセヌガ、從來地方稅トシテ、地方稅ノ中、俗ニ言フ興行稅トカ觀覽稅トカ、サウ云ツタヤウナ意味デ、地方ノ大體ノ稅源ニナッテ居ツタモノヲ、今回國稅ノ入場稅或ハ特別入場稅ヲ云フモノニシテ、地方稅源デアッタモノヲ、今回國稅ノ方ニ取上ゲラレタノデアリマス、其額ハ國稅ノ方カラ言ヘバ大シタ額デハアリマセヌケレドモ、ソレヲ取上ゲラレタ地方自治團體トシテハ、ソレデ相當ノ影響ガアルヤウニ私ハ考ヘマス、此點ハ大藏當局デモ御認ニナッテ、其一部ハ、ヤハリ其代償ト言ヒマスカ、其財源ノ減少シタノヲ補填スル意味デ地方ニソレヲ還元スル、交付スルコトニナッテ居リマス、併シ何ト言ツテモ其一部ハ國稅ノ方ニ利用サレル、捲キ上げ

ラレル、斯ウ云フコトハ能ク分ッテ居リマス、財政は臨時的ノモノデアッテ、此支那事變ガ終

ナレバ一年以内デ廢止スルコトニナルノデ

アリマス、臨時的ノ措置デアリマセウガ、併ナガラ斯ウ云ツタヤウナ意味デ、サナキダニ地方稅源ト云フモノハ餘り多クナイノデ

アリマシテ、地方ノ財政ノ經理上、運營上困ツテ居ルノデアリマスカラ、其餘リ豐デナ

イ、乏シイ地方ノ稅源ヲ國稅ニ依ッテ之ヲ取上ゲラレルト云フコトニ付テ、地方自治體ノ監督竝ニ指導ト云フヤウナ直接ノ職司ヲ御持チニナッテ居ル内務大臣ハ、此事實ヲ

何ト御覽ニナッテ居リマスカ、又ドウ云フ考

ラ内務省ニ恐らく協議ガナケレバナラナカッ

タト思フノデアリマスガ、其當時ドウ云フ

考デアリマシタカ、又將來地方自治團體ノ

稅源ニ付テ、何デモ彼デモ國稅ガ必要デア

ル、捲キ上ガルノデアル、國家ノ爲ニ已ム

ヲ得ナイト言ツテ爲シ、而シテ地方ノ稅源

ノコトニ付テ何等配慮ヲセラレナイカ、マ

サカサウ云フコトハアリマスマイト思ヒマ

スガ、其點ニ付テ私ハ特ニ内務大臣ノ御考

ラ此際伺ツテ置キタイト思ヒマス

之ヲ補給スル意味ニ於テ交付金ガ一億圓交

付サレテ居ルコトハ御承知ノコトト存ジマ

スルガ、私達ノ考カラ見マシテ、來ル十三

年度ニ於テハ各種ノ事情ナリ理由ノ下ニ之

ヲ不足トスル、殊ニ事變ヲ控ヘテ居リマシ

テ、軍事費ハ來年度ニ於テ五十億ニ垂ント

シテ多額ノ軍事費ノ支出ヲ要スル、又ソレ

ガ爲ニ國ノ方ニ於テ財政上色々按排サレテ

居リマシテ、此意味カラ申シマスト國ノ財

政モ非常ニ苦シイノデアリマスガ、又地方

自治體ニ於キマシテモ同ジヤウナ影響ヲ受

ケテ相當苦シイ、否、或ル意味ニ於テハ國

ノ財政以上ニ私ハ地方ノ財政ノ經理運營ト

云フモノハ困難デアル、ナゼナラバ國ハ必

要アレバ他ノ事情ガアリマシテモ兎ニ角自

分ノ力、自分ノ發意ニ基イテ幾ラデモ公債

ヲ發行スルコトガ出來ル、併ナガラ地方自

治體ハ一度假令千圓デモ二千圓デモ起債ヲ

シヨウト云フコトニナルト、常ニ國家ニ

制限監督サレ、内務、大藏兩大臣ノ認可ヲ得

ナケレバ所謂起債ハ出來ナイ、隨テソレ以

外ニ自由ナ財源ト云フモノガ殆ドナイヤウ

ナ狀態デアリマシテ、ソレガ爲ニ非常ナ窮

乏ラ來シテ居ルノデ、吾々ハ色々ナ事情

ノ下ニ一億圓ノ据置テハイカヌ、之ヲ少ク

トモ最少限度五千万圓ノ増額ヲセナクテハ

ナラスト云フ強イ確信ト信念ヲ持ッテ、地

方自治團體ニサウシテ貰ハナケレバナラヌ

○末次國務大臣 地方財政ノ非常ニ困ツテ

居ルト云フコトハ能ク分ッテ居リマス、財政は臨時的ノモノデアッテ、此支那事變ガ終

ノ不足ハ必ズ壇補致シマス

○川崎(末)委員 私カラ好ンデ簡單ニ直截

アリマス、臨時的ノ措置デアリマセウガ、併ナガラ斯ウ云ツタヤウナ意味デ、サナキダニ

アリマシテ、地方ノ財政ノ經理上、運營上

困ツテ居ルノデアリマスカラ、其餘リ豐デナ

イ、乏シイ地方ノ稅源ヲ國稅ニ依ッテ之ヲ

取上ゲラレルト云フコトニ付テ、地方自治

體ノ監督竝ニ指導ト云フヤウナ直接ノ職司

ヲ御持チニナッテ居ル内務大臣ハ、此事實ヲ

何ト御覽ニナッテ居リマスカ、又ドウ云フ考

ラ内務省ニ恐らく協議ガナケレバナラナカッ

タト思フノデアリマスガ、其當時ドウ云フ

考デアリマシタカ、又將來地方自治團體ノ

稅源ニ付テ、何デモ彼デモ國稅ガ必要デア

ル、捲キ上ガルノデアル、國家ノ爲ニ已ム

ヲ得ナイト言ツテ爲シ、而シテ地方ノ稅源

ノコトニ付テ何等配慮ヲセラレナイカ、マ

サカサウ云フコトハアリマスマイト思ヒマ

スガ、其點ニ付テ私ハ特ニ内務大臣ノ御考

ラ此際伺ツテ置キタイト思ヒマス

之ヲ補給スル意味ニ於テ交付金ガ一億圓交

付サレテ居ルコトハ御承知ノコトト存ジマ

スルガ、私達ノ考カラ見マシテ、來ル十三

年度ニ於テハ各種ノ事情ナリ理由ノ下ニ之

ヲ不足トスル、殊ニ事變ヲ控ヘテ居リマシ

テ、軍事費ハ來年度ニ於テ五十億ニ垂ント

シテ多額ノ軍事費ノ支出ヲ要スル、又ソレ

ガ爲ニ國ノ方ニ於テ財政上色々按排サレテ

居リマシテ、此意味カラ申シマスト國ノ財

政モ非常ニ苦シイノデアリマスガ、又地方

自治體ニ於キマシテモ同ジヤウナ影響ヲ受

ケテ相當苦シイ、否、或ル意味ニ於テハ國

ノ財政以上ニ私ハ地方ノ財政ノ經理運營ト

云フモノハ困難デアル、ナゼナラバ國ハ必

要アレバ他ノ事情ガアリマシテモ兎ニ角自

分ノ力、自分ノ發意ニ基イテ幾ラデモ公債

ヲ發行スルコトガ出來ル、併ナガラ地方自

治體ハ一度假令千圓デモ二千圓デモ起債ヲ

シヨウト云フコトニナルト、常ニ國家ニ

制限監督サレ、内務、大藏兩大臣ノ認可ヲ得

ナケレバ所謂起債ハ出來ナイ、隨テソレ以

外ニ自由ナ財源ト云フモノガ殆ドナイヤウ

ナ狀態デアリマシテ、ソレガ爲ニ非常ナ窮

乏ラ來シテ居ルノデ、吾々ハ色々ナ事情

ノ下ニ一億圓ノ据置テハイカヌ、之ヲ少ク

トモ最少限度五千万圓ノ増額ヲセナクテハ

ナラスト云フ強イ確信ト信念ヲ持ッテ、地

方自治團體ニサウシテ貰ハナケレバナラヌ

ト云フノデ、既ニ我黨並ニ政友會カラ現政
府ノ或ハ總理ニ或ハ内務大臣ニ或ハ大藏大
臣ニ其意見ヲ進言シ、御考慮ヲ煩シテ居ッ
テ、即チ今マデノ私達ノ仄聞スル所ニ依リ
マシテモ、總理ニ於カレマシテモ、亦内務
大臣ニ於カレマシテモ、大藏大臣ニ於テモ
此事情ヲ御認ニナリマシテ相當考慮サレ、
即チ更ニ増額ヲショウト云フヤウナ御考デ
居ラッジヤルコトヲ吾々ハ伺ッテ居ルノデ
ス、其點ハ沟ニ之ヲ諒ト致シマス、唯併ナ
ガラ私達ガ五千万圓ノ増額ヲ要求シ、之ヲ政
府ニ進言シ要望致シマスルコトハ、大擴ミ
ニ唯根據ナクシテ、マア一億圓ノ半分五千
万圓ハ増シテ貰ヘ、吹掛ケテ取レルダケ
取ツテヤレド云フ無責任ナ考デ申シテ居ル
ノデハナクシテ、即チ五千万圓ト云フコト
ニ付キマシテハ、ソレハ各判斷スル所ニ於
テハ色々判斷スルカモ知レマセヌガ、吾々
トシテハ相當ノ根據ヲ持チ、基礎ヲ持ツテ、
少クトモ五千万圓増額シテ貰ヒタイト云フ
コトヲ要望致シテ居ルヤウナ次第デアリマ
ス、而シテ其基礎トナリ根據トナルコトニ
付キマシテハ、昨日大臣ガ此委員會ニ御列
席願ヘマスレバ大臣ニ直接御伺モ致シ、又
付テ色々ト御尋モシ、又御意見モ申上ゲタ

イト思ヒマシタケレドモ、不幸ニシテ大臣
ガ出ラレマセヌノデ、内務省ノ政府委員ノ
勝田君竝ニ坂君ノ御出席ヲ願ツテ、私モ多少
ノ質問應答ヲ致シタノデアリマス、隨テ是
等ノコトニ付キマシテハ、大臣ノ御耳ニハ
ソレドヽ勝田君ナリ坂君カラ御報告願ツテ
居ルコトト思ヒマスガ、若シ御報告ガナケ
レバ、此後ニ於テ御報告願ツテ御耳ニ御達
シ願ヒタイト思ヒマス、大臣ニ對シテハ細
カイ計數ノコトナドハ申上ゲマセヌ、吾々ニ
ニ於テハ相當ノ根據ヲ持ツテ申上ゲテ居ル
ノデ、大雜把ナ空漠タル見當デ五千万圓增
シテ吳レト言フノデアリマセヌ、吾々ニ
於テハ相當ノ根據ト相當ノ必要ヲ認メテ此
額ヲ申出タノデアリマスルカラ、只今ノ所
政府ノ地方財政ノ補給金ヲ増額スルト云フ
コトニ付テノ御意思ハ吾々ハ大體之ヲ諒ト
シ、又サウサレルモノト確信致シマス、額
ニ付テハ未ダニ御決定ガナイヤウデアリマ
スガ、私ハ地方自治團體ノ財源ガ窮乏シテ
居ルコトヲ御承知願ヒ、又御同情願ヒタ
イ、又地方自治團體ノ財源ハ他ノ國家其他
ノ關係ノ好意ニ依ツテソレガ缺陷ヲ必ズ補
墳シテヤル、斯様ナ此地方自治團體ニ對シ
テ御親切ナ内務大臣ト致シマシテハ、地方
自治團體ノ現在ノ財政ニ御鑑ミ下サレマシ

テ、御同情下サレマシテ、是非トモ此五千
万圓ト云フ額ヲ御認メ下サイマシテ、サウ
シテ此額ダケハ少クトモ地方ノ補給金トシ
テ増額スルト云フコトニ付テ、今後一層ノ
御盡力ト御斡旋——御斡旋ト云フヨリモ主
管大臣ト致シマシテ、大臣ノ本當ノ御職
司、本務トシテ是ガ爲ニ一層ノ御配慮ヲ賜
ランコトヲ御願致シ、私ハ特ニ此機會ニ於
テ大臣ニ質問ト云フヨリモ寧ロ御願致シタ
イト思フノデアリマスルガ、此點ニ付テ大
臣ノ只今御抱持ニナサッテ居リマスル御所
懷ナリ御所感ナリヲ伺ッテ置ケバ洵ニ幸ダ
ト思ヒマス

○川崎(末)委員 只今ノ大臣ノ御答辯ニ依
リマシテ、御精神ノアル御誠意ノアル所ハ
沟ニ諒トシ、是ハ感謝致シマス、唯併シ斯
レガ下賤ナ者デ甚ダ恐入リマスガ、御精神
ハ有難イガ、現實ニ御金ヲ二千万圓頂戴ス
ルノモ、三千万圓頂戴スルノモ、精神ニ於
テハ寧ロ或ル場合ニ於テハ二千万圓ノ方ガ
有難イコトガゴザイマセウ、併ナガラ吾々
實際ニ地方ノ財政ヲ賄フ際ニ於キマシテ
ハ、多少嫌味ヲ言ハレテモ、二千万圓ヨリ
モ三千万圓、三千万圓ヨリモ五千万圓ノ方
ガ國家公共ト云ヒマスカ、府縣ノ爲ニ私ハ
多少御叱リヲ受ケマシテモ、嫌味ヲ言ハレ
マシテモ戴キタイ、サモシイ根性カモ知レ
マセヌガ、實際ノ府縣ノ財政ノ有様カラ申
シマスレバ——是ハ心事ヲ吐露シテ申上ゲ
テ居ルノデスカラ、私ノ下賤ノコトニ付テ
ハ御嗤ヒ下サイマシテモ、地方ノ此何千万
人ト云ヒマスカ、此農民ノ爲ニ、農家ノ爲
ニ、一ツ御同情ヲ煩シタイ

尙ホ最後ニ果シテ大藏省ガ如何ナル程度
ヲ適當ト認メルカ、内務省ガ如何ナル額ヲ
要求サレテ居ルカト云フコトニ付キマシテ
セヌ、唯吾々ハ五千万圓ヲ要望シテ居リマ

ス、此内閣ノ大臣デアリ、而モ過去ノ御經
歴ニ付キマシテハ私ハ非常ニ敬意ヲ表シテ
トニ對シテハ、途中デ餘リグラツイテ後退
居リマス、一度内相ガ眞ニ是ダケノコトガ
サレヌヤウニ、此點ハ特ニ私ハ大臣ノ御考
慮ヲ煩シマシテ、私ノ大臣ニ對スル質問ト
申スヨリハ希望ハ是デ止メテ置キマス

○高橋委員長 森田君ノ内務大臣ニ對スル質
疑ニ付テ、關聯シテ質疑ノ申出ガアリマス、
之ヲ順次御許シ致シマス——東條貞君
○東條委員 森田君及ビ川崎君モ御尋ニナ
リマシタ地方財政トノ關係デアリマスガ、
今當面ノ問題ト致シマシテハ、補給金デ出
來ルダケ地方自治體ノ財政ヲ緩和シテ戴ク
ヨリ外道ガナイト思ヒマスガ、此問題ハモ
ウ少シ根本的ニ御考ヲ願ハナケレバ云カヌ
ノデハナイカト思フノデアリマス、稅制ノ
改正ニ付キマシテモ、中央、地方ヲ通ジタ
整理ヲセンケレバ云カヌノデヤナイ
迄モナイ話デアリマスガ、ソレヨリモウ
一步邇ツテ考ヘンケレバナラヌノデヤナイ
カト思フノデアリマス、數字ナド擧ゲテ申
シマスルト非常ニ時間ヲ要シマスルカラ、
趣旨ダケ簡單ニ申述ベマスガ、今日ノ自治
體ガヤツテ居リマスル仕事ノ大部分ハ、寧ロ

國ガヤルベキ仕事デアルト云フコトハ申ス
迄モナイ話デアリマス、例ヲ擧ゲテ申シマ
スルト、第一戸籍ノ事務ニ致シマシテモ、
兵事ノ事務ニ致シマシテモ、或ハ徵稅等ニ
關スル事務ニ致シマシテモ、ソレカラ殊ニ
一番多額ノ費用ヲ要シマスル義務教育、是
ナドハ仕事ノ性質カラ言ヘバ、無論國ガヤ
ラナケレバナラヌ仕事デアリマス、ソレカラ
ラ地方費ノ方ニ於キマシテモ、警察ノ仕事
ノ大部分、是モ勿論デ、國民ノ身體生命ノ
安全ヲ圖リマスルトカ、或ハ公ノ保安ノコ
トニ當リマスルトカ云フ仕事ハ、決シテ自治
體デヤルベキ仕事デハナクシテ、國ガヤル
ベキ仕事ナンデアリマス、斯様ニ國ノヤル
ベキ仕事ヲ地方ノ自治體ガヤツテ居ル、其處
ヘ持ツテ來テ色々ナ計畫ヲ國ガ致シマスル
ト、當然國ガセネバナラヌモノヲ又地方ニ
分擔サセル、例ヘバ青年學校ノ問題ナドモ
サウデアリマス、ソレカラ又產業方面ニ於
キマシテモ、國ガ何カ計畫ヲスルト、之ヲ
地方ノ自治體ガヤハリ金ヲ出サネバナラヌ
ヤウナ形ニナッテ來ル、本當ニ擔稅力ニ相
當シタ負擔、地方ノ實力ニ應ジタ仕事ヲサ
シテ行カウト云フコトニナリマスルト、現
在國ノヤツテ居リマスル仕事以外ニ、自治體

ガ國ノヤルベキ仕事ハ順次之ヲ自治體カラ
離シテ、國ガ直接ニヤル、斯ウ云フコトニ
シテ參リマスルナラバ、非常ニ貧弱ナ自治
體ト富裕ナ有効ナル自治體トノ間ノ財政ノ
均衡ガ圖レテ參リマスルシ、又國民ノ負擔
モ均衡ガ取レテ參ルノデアリマス、唯稅制
ダケデ如何ニ中央、地方ノ兩方カラ見テ何
トカ此負擔ノ均衡ヲ圖ラウト致シマシテモ、
稅制ノ改正ダケデハソレガ出來マセヌ、又
如何ニ交付金ヤ補給金ヲ増額シテ此均衡ヲ
保タウト致シマシテモ、中々ソレデハ容易ニ
ニ均衡ガ保テナイ、近來所謂庶政一新トカ
或ハ政治ノ革新トカ云フコトヲ頻リニ唱ヘ
ラレテ居リマスルシ、現内閣モ政治ノ革新
ヲヤラウト云フ旗印ヲ掲ゲテオ居デニナル
ノデアリマスガ、先ヅ國民全體ヲ通ジテ、
其擔稅力ニ本當ニ比例シタ負擔ノ均衡ヲ圖
ラウト云フ考デアリマスルナラバ、ドウシ
テモ此方面ニ手ヲ著ケテ、稅制ノ整理ヨリ
モ先ヅ仕事ノ整理ヲシテ行カナケレバナラ
ナイト考ヘルノデアリマス、是ハ非常ナ大
事業デ、迎モ一朝一夕ニ行ヒ得ルコトデモ
アリマセヌシ、相當ナ年處ヲ要スルコトト
思ヒマス、ケレドモ現ニ義務教育ノ方面ナ
ドハ、國ガ自治體ニ對シテ負擔ヲサシテ置
イテ、國家ガ之ニ金ヲ出シテ居ル、斯ウ云

フモノヲ國ノ方へ本當ニ引取ッテシマッテ、
サウシテ自治體カラ離シマスルト、自治體
ノ財政ト云フモノハ非常ニ地方的ナ均衡ガ
取レテ來ルノデアリマス、順次サウ云フ風
ニオヤリニナル考ガアリマスルナラバ、今
マデニ國ノヤルベキ仕事ヲ地方ニヤラシテ
居ルノヲ、假ニ年ニ一種目ヅ、デモ、或
ハ又財政上大キナモノニ手ヲ著ケルコト
ガ出來ナケレバ、小サイモノカラデモ徐々
ニ整理シテ行クナラバ出來ルト思フ、
今一つハ今後計畫スペキ仕事ニ於テ、其仕
事ノ性質ガ國ガヤルベキ仕事デアル場合ニ
於テハ、決シテ自治體ヘ費用ヲ負擔サセル
ヤウナコトヲジナイ、此二ツノ方針を行カ
レマスルナラバ、徐々ニ此問題ノ解決方付
イテ行クト思フノデアリマス、此點ニ付キ
マシテ、内務大臣ノ御高見モ承リタイシ、
又實務ニ當ッテ居リマス地方局長ノ御意見
モ承ッテ見タイト思ヒマス

卷之三十一

二

○坂政府委員 國ノ委任事務ト自治體ノ固

有事務トヲ截然ト區別シテ、自治體ガ委任

事務ノ重壓ニ喘イデ居リ、其費用ノ賄擔ニ
苦シonde居ルカラ是ハ何トカ考ヘナケレバ
イカヌト云フ御議論ハ洵ニ御尤ニ考ヘマ
ス、サウ云フ意味ニ於キマシテ色々從來研
究致シタコトモアルノデアリマスガ、併シ

御承知デアリマスヤウニ、自治體ガドレダ

チノ事務ヲ持チ、國が又ドレタケノ事務ヲ持チ、其負擔ノ區分ヲドウ云フ風ニシテヤルカト云フコトハ、何十年ノ沿革ニ依ッテ今日ニ至ラテ居ルノデアリマシテ、假令合理的ナ標準ヲ發見シ得ルト致シマシテモ、直チニ之ヲ實現致シマスコトニハ相當ノ困難

ヲ豫想シナケレバナラヌト思フノデアリマス
ス、其趣旨ハ洵ニ御尤ニ思フノデアリマス
ガ、過去ニ於キマシテ幾度カ行政整理其他
ノ場合ニ於キマシテ、論議ヲ重ネテ居ルノ
デアリマスガ、中々實現ノ容易ナラザルモ
ノガアルコトヲ痛感シテ居ル次第デアリマス
ス、又事務ノ性質カラ申シマシテモ、委任
事務、固有事務ト一口ニハ申シマスケレド
モ、或ル事務ガ國ノ事務デアルト同時ニヤ
ハリ自治體ノ利益ニナルコトガアリ、固有

事務ガ必シモ自治體ダケノ效果ノアルモノ
デアッテ、國家ト關係ガナイト申シ兼ネル
點モアルノデアリマシテ、此兩者ヲ理論上
區別スルト云フコトハ一應ハ出來マスケレ
ドモ、相當困難デアルノデアリマス、併シ
將來ハ十分研究ヲ續ケ、適當ナ機會、適當ナ
方法ヲ發見致シマシタナラバ、其實現ニ遇
進シタイト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デア
リマス

キハ貧弱ナ市町村ト富裕ナ市町村トデハ、
市町村ノ財政上、詰リ教育ニ關スル設備ノ
上ニ於テ非常ナ差ガアル、國民ノ義務教育
ト云フ上カラ行ケバ、是ハドンナ都會ニ於
キマシテモ、ドンナ田舎ニ於テモ——校舍
ノ如キハ無論田舎ニ鐵筋「コンクリート」ノ
立派ナ建物ハ出來マスマイケレドモ、教具
デアルトカ、標本デアルトカ、理科ノ機械
デアルトカ云フヤウナ程度ノ、知識ノ啓發
ニ關シテ必要ナ施設ハ、都會モ田舎モ同ジ
ニシテヤラナケレバ、田舎ノ兒童ハ本當ニ
可哀相デアリマス、トコロガ一方デハ立派
ナ機械ヲ備ヘ、立派ナ標本ヲ持ッテ、一見
シテ成程ト理解ノ出來ルヤウナ設備ガアル
ノニ、田舎ヘ行ケバ石版刷ノ圓面ヲ指シ示
シテ教育ヲスルト云フヤウナ譯デ、均等デ
アルベキ教育ノ上ニ於テ、非常ナ厚薄ガア
ルノデアリマス、斯ウ云フモノヲ國ガヤル
ト云フコトニシテシマヒマスレバ、單ニ負
擔ノ均衡ガ圖レルバカリデナシニ、本當ニ
教育ノ機會均等ト云フコトニモナルノデア
リマス、財政々々ト言ハレマスルケレド
モ、是モ國ガ全部ヲ一度ニ完全ニスルト云
フコトニナツタラ、ソレハ大變ナ金ガ掛リマ
セウケレドモ、ソンナ無理ナ注文ハ國民ハ
致シマスマイ、又是ハ徐々ニヤッテ行ケバ

シマスレバ左様ナ財政上困難デ、絶對ニヤ
レナイナント云フ問題デハナイト思ッテ居
リマス、出ス方カラ言ヒマスレバ自治體ニ
ノモ、出ル懷ロハ同ジデアリマスルケレト
モ、全國的ニ均衡ヲ取ツテ徵稅致シマスル
國稅デ負擔スルノト、自治體ダケノ中デ均
衡ヲ取ツテヤリマスル自治體ダケノ負擔ト
デハ、非常ナ不均衡ガ出來テ來ルノデアリ
マスカラ、サウ云フ積リデオヤリニナリマ
スルナラバ出來得ルコトガ澤山アルト思ヒ
マス、殊ニ今伺ヒマシテモ、國ノ仕事ト自
治體ノ仕事ニ付テノ區分ハ困難ダガ、何ト
カシナケレバナラヌト云フノデ、行政整理
ノ時ナドニ始終研究スルノダト云フコトデ
アリマスガ、サウシナガラ、何カ御計畫
ヲ立テラレル時ニハ、國ガ一部ヲ負擔シ
テ、サウシテアトヲ又自治體ニ負擔サセル
ヤウナ計畫ヲオ立チニナツテ居ル、是モド
ウモ財政上財源ガナイカラ仕方ガナイガ、
三分ノ一ヲ國デ持ツテ、三分ノ一ヲ地方自
治體ニ持タシテ、アトハ市町村自治體ニ持
タセルト云フヤウナ行キ方デオヤリニナル
コトガ隨分アリマス、青年訓練ノ仕事モサ
ウデアリマスシ、サウ云フノガ自治體ニハ

澤山アリマスガ、何カ計畫ヲスルト必ズ自
治體ニ其尻拭ヒヲサセルヤウナ御計畫ガア
ルノデアリマス、斯ウ云フコトヲ成ルベク
ヤラヌヤウニナサイマスト、中央ト地方ト
ノ負擔ノ不均衡ガ矯正サレルコトニナル、
詰國民全體ニ亘ツテノ負擔ノ均衡ト云フ
コトガ保ツテ行ケルノデアリマス、成ルベ
クサウ云フ方面ニ向ツテオ進ニナルコトガ
必要ダト思フ、唯稅制整理ダトカ、交付金
ダトカ、補給金ダトカ云フヤウナモノデ、
一時塞ギヲ致シマシテモ、到底此地方ノ不
合理ナル重イ負擔ト云フモノハ救濟サレル
モノデナインデアリマスカラ、此點ニ付テ
モ真劍ニ一ツ御研究ニナッテ、所謂革新的
ナ行政ヲオヤリニナルト云フコトデアレ
バ、斯ウ云フ問題ナドハ最モ意義ノアル、
當然ヤラネバナラニ仕事デアラウト考ヘテ
居ルノデアリマスカラ、一ツ十分ニ熱意ヲ
持ツテ御研究ヲ願ヒタイト思フノデアリマスルカ
ス、唯御座ナリノ御考デナク、一ツ真劍ニ
御研究ヲ願ヒタイト思フノデアリマスルカ
ス、蒸シ返シテ諄イヤウデアリマスルガ、
申上ゲタノデアリマス、内務行政ト云フヤ
ウナコトニ初メテ御關係ニナリマスル大臣
デアリマスケレドモ、若シ斯ウ云フ方面ニ
付テ本當ニ力ヲ入レテオヤリ戴ケルナラ

ベ、所謂内務行政通ト云フヤウナ、色々
方面ニ對シテノ煩瑣ナ内務行政ニ付テノ小
手先ノ御仕事ヨリハ、餘程國家國民ノ爲ニ
有難イ御仕事ダト考ヘルノデアリマスカ
ラ、特ニ内務大臣ノ一ツ御考慮ヲ煩シタイ

ノ點ヲバ非常ニ考慮サレテ、原則トシテハ此度引下ダタ免稅點千圓カラ千二百圓ノ所得者ニハ附加稅ヲバ課ケナイト云フコトガ原則トナリ、是ガ法文ニモ謳ハレテ居ルノデアリマス、所ガ是ハ東京市、其他十數市ニ於テ行ハレテ居ル特別所得稅ノ問題ニ關聯シテデアリマスガ、東京市ニ於キマシテハ、從來ノ免稅點以下ノ八百圓カラ千二百圓迄ノ所得者ニ對シマシテ、特別所得稅ト云フモノヲ課シテ居リマス、所ガソレガ今度免稅

フヤウナコトガ惹起サレルト云フ、可ナリ
大キナ問題デハナカラウカト思フノデアリ
マス、所謂原則的ニ附加稅ヲ許サナイト云
フコトハ當局ニ於キマシテモ、千二百圓ヲ
千圓ニ引下ゲルト云フコトニ付テハ、大藏
大臣ノ言葉ヲ藉リテ申シマスレバ、非常ニ
生活ハ苦シカラウケレドモ、日支事變ノ爲
ニ已ムヲ得ナイ、併シ耐ヘ忍ンデ貴フ代リ
ニ附加稅ハ原則的ニ許サナイト云フコトニ
ナシテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ノ點ヲバ
考慮サレマシテ、此問題ニ付テ、新聞ノ報
知通リニ交渉ガ行ハレテ居ルカドウカ、又
其結果御許ニナル御考カ、ソレトモサウ云
フコトハ原則規定ニ則ツテ拒絕サレル御考

二

○末次國務大臣 只今ソ水谷君ノ御尋ノコトハ何ニモマダ聞イテ居リマセヌ

○水谷委員 新聞ニハ交渉中ト云フコトガアリマスガ、ソレデハ若シサウ云フ交渉ガ

行ハレタ時ニハ御許ニナル御意向カドウカ、
ノノトモ亘否ナノレカドウカト云フコトヲ

ソレハモ打否サレノアリトキテ云フニシテ

○末次國務大臣
サウ云フ附加税へ出来ル
ダケ廢メサセタイト思ヒマスガ、併シドウ
云フ事情デアルカ、ソレモ篤ト聽カナケレ

テモ明ニナッテ居ルノデゴザイマス、例ヘ
バアノ藤井大藏大臣ノ時ニ、僅カ三千万圓
ノ臨時利得税ガ制定サレタ時ニ於キマシテ
モ、其三千万圓ヲ勞働者階級ニ轉嫁ノ爲
ニ、非席ニ勞働争議ガ起リマシテ、面白カ
ラヌ現象ガ起ツタノデゴザイマス、之ヲ最
近ノ統計ニ依リマシテ、ドウ云フ工合ニ
ナツテ居ルカト申シ、マスレバ、假ニ工場法
適用工場ノ工場灾害、是ハ内務省ガ御發表
ニナツタノデアリマスガ、ソレガ昭和二年
ノ灾害ヲ假ニ百ト致シマスレバ、昭和九年
ニハ災害者ノ中デ死ニマシタ者ガ、九年ニ
ハ一五七・六、十年ニハ少シ下リマシテ一
四一・二最近ノ調査ヲ不幸ニシテ持ツテ居リ
マセヌガ、生産力擴充ノ爲ニ日夕ノ新聞記
事ニ現ハレマシタ點カラ申シマスレバ、ソ
レ等ハ非常ニ多クナツテ居ラウト思フ、又
災害者ノ中ニ於キマシテ、重傷ヲ負ッタ者
ハドレ位ニナツテ居ルカト申シマスレバ、
是亦昭和二年ヲ百ト致シマシテ、九年ニハ一二
二・三十年ニハ一二九・八ト進ンデ居リマス
ガ、更ニ又災害者ノ中ニ於キマシテ幸ヒ輕傷
デ済ンダ者ハドノ位ニナツテ居ルカト申シ
マスレバ、昭和二年ニハ百ノモノガ、ソレガ
昭和十年ニハ一一三・三ト云フコトニナツテ
居リマシテ、其合計ヲ平均致シマスト、百

ニ對シテ一一五・五ト云フヤウナ狀態ニナッ
テ居リマス、人數ノ點カラ申シマスレバ昭
和九年ニハ死シダ職工ノ數ハ五百五十五
人、重傷ヲ負ウタ者ハ一万五千五百十人、
更ニ又輕傷ヲ蒙ツタ者ガ四万六千五十二人
合計六万二千百十七人ト云フコトニナツテ
居ル、所ガ是ガ昭和十年ニナリマスト更ニ
増加致シマシテ、合計ハ七万五千ヲ遙ニ突
破致シテ居ルト云フヤウナ狀態デアル、更
ニ又是等ノ原因トナツテ居ル所ノ所謂工場
法規ノ違反ト云フモノガ如何ニ辛辣ニ行ハ
レテ居ルカト申シマスレバ、是亦内務省ノ
タ件數ガ二万八十二件デアツタノガ、昭和
十年ニハ二万七千九百四十四件ト云フヤウ
ナ狀態ニナツテ居ル、處罰ノ件數ガ昭和七
年ニ三百六十四件ト云フノガ、十年ニハ九
百四十一件ト云フ狀態ニナツテ居ルノデゴ
スコトハ、是ハ火ヲ賭ルヨリモ明カデゴザ
イマス、サウシテドウ云フヤウナ違反ガ
行ハレテ居ルカト申シマスレバ、保護職工
ヲシテ法定時間ヲ超エテ就業サシタト云フ
ノガ、實質的違反ト致シマシテ五千九百五
十三件ニ上ツテ居ル、更ニ又法定ノ許可ヲ
受ケナイデ就業時間ヲ延長シ、又ハ其届出
ラ急タモノガ六百四十五件ニ上ツテ居ル、
或ハ賃銀ヲバ通貨ヲ以テ毎月一回以上支拂

ハズ、又ハ支拂ヲ遷延サシタモノガ三百三
十八件ト云フ狀態ニナツテ居ルヤウナ次第
テゴザイマス、内務大臣モ身ヲ以テ經驗サ
レテ居ルヤウニ、現下ノ時局ト云フモノハ
非常ニ重大デゴザイマシテ、吾々社會大衆
黨或ハ其支持スル勞農團體ト云フモノハ協
力一致致シテ國難ヲ突破スル、サウシテ
労働總同盟ノ如キハ事變中ハ「ストライキ」
サヘモヤラナイト云フヤウナ狀態ニナツテ
居ル、隨テ是等ノ災害ト云フモノハ非常ニ
澤山ニナツテ居リマスルガ、勞働者竝ニ農
民ノ側カラソレニ對シテ抗議スペキ手段方
法ヲ現在ハ封鎖サレテ居ルト云フヤウナ狀
態ニナツテ居リマス、若シ從來ノヤウニ資
本家ノ態度ヲバ非常ニ緩漫ナル狀態ニ放任
サレルナラバ此違反事件數ハ非常ニ殖エル
トヲ放任シテ置クカラ赤化思想ガ深刻ニナ
ルト云フ點ニ於テ、是ガ關聯シテ居ルノデ
質問シテ居ルノデアリマスガ……

○水谷委員 ソレニ對シテ一言申上ゲマ
ス、森田委員ハ非常ニ憂國ノ至情ヲ以テ赤
化思想ヲ歎カレタ、ソコデ私ハサウ云フコ
トヲ放任シテ置クカラ赤化思想ガ深刻ニナ
ルト云フ點ニ於テ、是ガ關聯シテ居ルノデ
質問シテ居ルノデアリマスガ……

○高橋委員長 委員長ハ極ク消極的ニ解シ
テ議事進行ヲ圖ツテ居リマスガ、他ニモ幾
多ノ通告者ガ控ヘテ居リマスカラ御讓リヲ
願ヒタイト思ヒマス、關聯シタ簡單ナル質
疑デアルト云フコトデアリマスカラ、宮本
雄一郎君ニ許可致シマス——宮本君
脱シテ居ルヤウナラバ御注意願ヒタイト思

一六

ヒマス、私ハ極メテ根本問題ニ付テ内務大臣ニ御所見ヲ御伺致シマス、今回ノ増稅ノ結果ガ如何ニ國民生活ノ上ニ影響スルカト云フコトガ、最モ心配ニ堪ヘナイ問題デアリマス、之ニ付キマシテ今回ノ增稅、又時局ニ對スル地方ノ財政問題ニ關シマシテ、將來如何ナル方針ヲ以テ國民ヲ指導訓練スルカ、昨日モ一寸御伺致シマシタガ、市町村ノ豫算編成ニ付キマシテノ依命通牒カラ致シマスト、極メテ消極的ナル地方財政方針ヲ採ルベキヤウニ御指導ニナルヤウデアリマス、又最近地方廳ニ於テハ物價抑制ノ委員會ヲ作リマシテ、努メテ物價問題ニ對シテ變化ナカラシムルト云フヤウナコトヲ方針トシテ指導訓練ヲシテ居リマス、第一ニ此增稅ニ伴ヒマシテ一番心配ナノハ、非常ニ物價ガ變動スルト云フコトガ何人モ心配ナ問題デアラウト存ジマス、今回ノ市町村豫算編成指導方針ノ如シナイカ、其場合増稅ニ堪ヘルカ、又時局常ニ農產物ノ價格低落ト云フコトヲ生ジハクナル、賣ル物ハ安クナルト云フコトニナル非常ニ心配ナ問題デアリマス、買フ物ハ高ト、丁度昭和六年、七年頃ノヤウナ地方農村

ノ事情ニ陥リハセヌデアラウカ、内務省ノ
地方公共團體豫算編成ニ對スル指導方針力
ラ見ルト、丁度其頃ト依命通牒ノ内容ガ變
ラナイヤウナ精神ヲ持ッテ居ルヤウデアリ
マス、此時局ニ對應スルニ付キマシテハ、
又今回ノ増稅ヲスルニ付キマシテハ、一面
生産力ノ擴充ヲ圖ルト共ニ、尙ホ海外貿易
ノ伸展ヲ圖ルト云フコトヲ、方針トシテハ
採ル必要ガアリハシナイカ、今回ノ増稅ニ
關シマシテ、又時局ニ關シマシテ、内務省
ノ指導方針ノ根本ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○坂政府委員 一應私カラ申上ゲタイト思
ヒマスガ、此通牒ヲ出シマシタ時ハ何分事
變ガ勃發致シマシテ、其爲ニ色々物資或ハ
資金ノ關係上特殊ノ現象ヲ生ズルデアラウ
ト云フコトガ餘程豫想サレナケレバナラヌ
事態デアリマシタ、隨ヒマシテ地方公共團
體ガ十三年度ノ豫算ヲ編成スルニ當リマシ
テモ、物資、資金、勞力ノ使途ト云フ方面
ニ付キマシテ深甚ノ考慮ヲ煩サナケレバナ
ラヌ、過去ニ於キマシテノ日露戰爭、或ハ
其後ノ各種ノ事變等ノアリマシタ場合ノコ
トヲ考ヘテモ、ヤハリ同様ノ考慮ガ拂ハレ
テ居ル事實ガアルノデアリマス、隨ヒマシ
テ成ベク其點ニ付テハ國家ノ活動ニ差支ノ
ナイヤウニ、地方公共團體モ協力シテ貫ヒ

タイト云フ 越旨デアリマス、併ナガラ是ガ
爲ニ地方ノ人心ノ沈滯ヲ招クトカ、或ハ國
民精神ノ安定上好マシカラザルコトハ避ケ
ナケレバナリマセヌカラ、其點ニ付テモ配
慮サレタイ、サウシテ大體國ノ方針ニ付テ
協力シテ戴クヤウナ豫算ヲ組ンデ貰ヒタ
イ、斯様ナ意味デ豫算ノ編成ニ付テ通牒ヲ
出シタノデアリマス、先程モ申シマシタヤ
ウニ、地方團體ガ豫算ヲ組ムニ當ツテ毎年
出シテ居ル譯デハアリマセヌ、特殊ノ場合
ニ於キマシテ特ニ必要ナ點ニ付テ出スノデ
アリマスカラ、昨年ハ已ムヲ得ザル事情ア
リト認定シテ左様ナ通牒ヲ出シタ次第デア
リマス

六分リマスル、戦争目的達成ニ全力ヲ擧ゲ
テ居ルノデアリマシテ、只今ノ所デハ此方
針以外ニドウシヨウト云フコトハ今ノ所何
トモ出來ナイ實情ニアリマス

○宮本委員 尚ホ目下市町村ノ豫算編成時
期デアリマシテ、恐ラク此方針ヲ本當ニ遵
奉スルニ於キマシテハ、豫算編成ガ出來ナ
イ市町村ガ大分アラウト存ジマスガ、事務的
ニ瓦ルコトデアリマスカラ他日ノ機會ニ讓
リタイト思ヒマス

○高橋委員長 皆サンニ御誂リ致シマス、
昨日カラ非常ニ皆様御精勵ニナッテ居リマ
スシ、御疲レデセウカラ、本日ハ此程度デ
止メテ、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマ
ス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時十分解散會